

S N C D 地域福祉におけるソーシャルネットワーク
第10回研究会 2021/6/19 (土)

ネットワークの基本概念と 地域福祉の関心領域

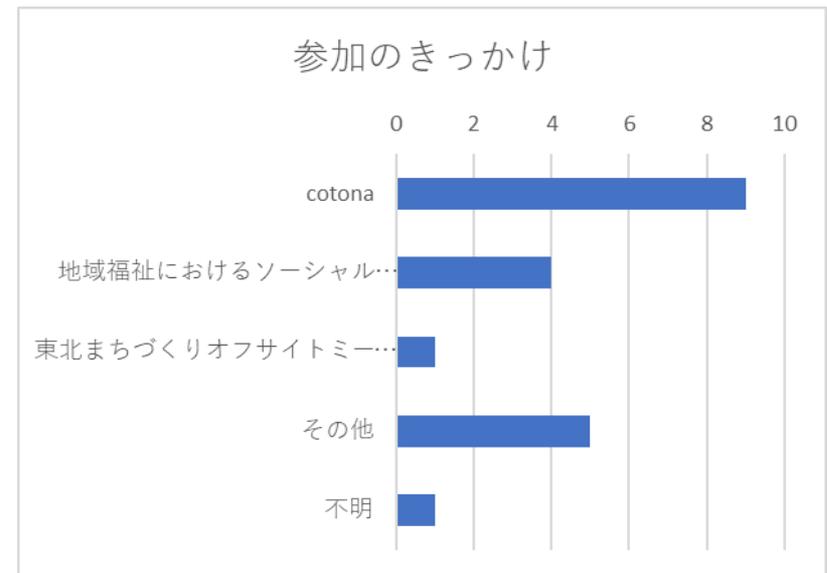
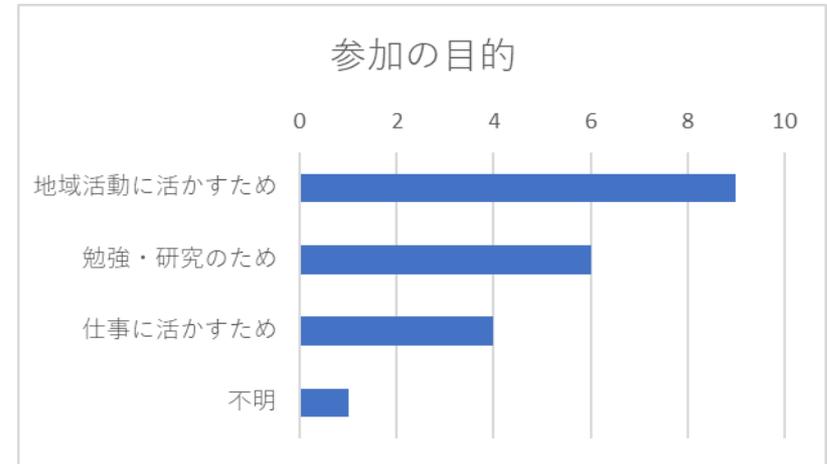
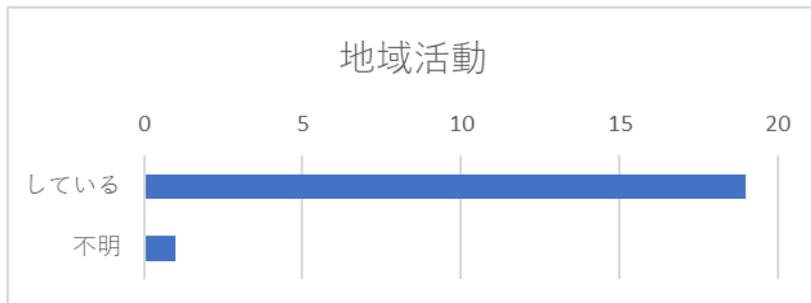
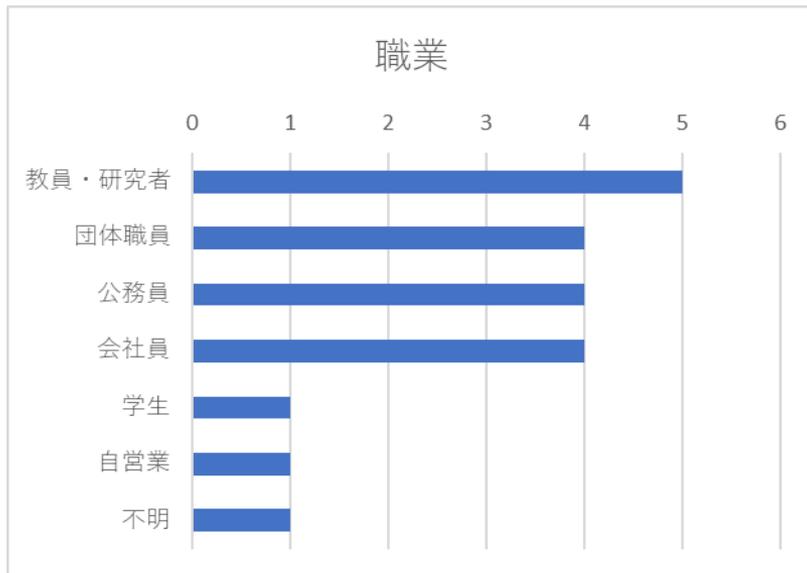
堀 崇樹

本日の次第

- 前回の振り返り
- ネットワークの基本概念
- 地域福祉の関心領域とネットワーク
(ワークショップ)
 - ・ 研究テーマ／仕事上の関心事
 - ・ 研究テーマとネットワーク

情報共有：第11回公開セミナー申込状況

申込者 20名
(2021/06/18時点)



2021/4/17のディスカッションから

- 政策レベルではネットワークが多用されるようになってきているが、優良事例を集める程度。ネットワークのマネジメントという考え方（活用の方法論）まではいけていないのではないか。
- 社会福祉法人ネットワークや協議体などは「やる前提」が最初にあって、「やらされ感」がある。その集まりが何の機能をもつのか明確になっていないのではないか。
- あて職の代表者会議の有効性を感じることができない。地域（の人材）のプロファイリングが必要ではないか。
- システム目線の公共（行政）ネットワークとボランティアなネットワークではだいぶ様相が異なるのではないか。
- 既存のネットワークに接近しようとするとき、フリーライド（ただ乗り）しようとしているのではないかと思われぬか気がかり。

2021/4/17のまとめと今日の課題

- ネットワークという用語が何を指しているのかわからなくなった。
- ネットワークという用語は、使用される場面が多様。
- それぞれが頭に浮かべるネットワークの現実態にずれがあるため、途中から話が見えにくくなる。
- 使用範囲が広すぎて、まともに整理したことがない。
- ネットワークの定義やタイプを確認したうえで、どのような状況でこの語を用いるか、参加者の関心領域を話し合ってみる。

ネットワークの基本概念

内容

- ネットワークに関連する語
- 定義
- なぜネットワークなのか
- ネットワークをとらえる視点
- 社会福祉におけるソーシャルネットワーク研究

ネットワークに関連する語

つながり、紐帯、絆、関係、接触、接続、連絡、
交際、結合、連帯、連携、人脈、コネ、縁故、派閥、
学閥、閥閥、社会的資本、友好／敵対、協力、共存、
多様性、自律性、ノード、ライン（エッジ）、
リンケージ、ハブ／オーソリティ、黒幕モデル、
ブリッジ（橋渡し）型／結束型、クラスター、
クリーク、伝染、感染、普及（伝播）、カスケード
現象、ホモフィリー／ヘテロフィリー、6次の隔たり、
近傍選択／優先的選択 etc.

定義

C. Cadushin (2012=2015:16)

ネットワークとは、関係性の集合のことである。

J. Boissevain (1974=1986:47)

個人が埋めこまれている社会関係は、ネットワークとして考えることができる。この社会的ネットワークは、…分散している点が線によって連結されている状態だとみることができよう。

井上寛 (1993) = 『新社会学辞典』 (有斐閣)

素朴にはネットワーク・モデルとは、社会現象を点の集合と点をつなぐ線の集合によって表現したものである。個人であれ集団であれ、行為者が点とされ、行為者の間の態度、資源や情報の交換などが線として描かれる。

なぜネットワークなのか

松岡克尚（2016）サービス供給体制の変化

社会福祉基礎構造改革は「連携指向」「つながり活用の重視」であり、「利用者との間の『線的な対応』から、関係機関、関係者とのつながりを意識した『面的な対応』『網目的な対応』へのシフトチェンジ」

Trevillion（1999, 2018）ニーズの充足方法の変化

1990年代は、比較的標準化された一連のサービス提供を通じて、社会サービス部門が「ニーズ」を充足するとはもはや想定されていない。個人および家族の問題の解決策は、様々な種類の（私的、公的、ボランティア）組織を互いにリンクすることに依存し（ている）。

野沢慎司（2009）集団論アプローチの限界

家族社会学の分野では、これまで支配的であった集団論的アプローチの限界が指摘されるようになった。…背後には、（半ば）閉じた集団としての家族を外部環境から切り離れたうえで世帯内の夫婦家計や親子関係などの家族関係を分析する研究…では、現代の家族の状況を十分に説明できないという認識がある。（コミュニティ問題に共通）

なぜネットワークなのか

社会の変化

- 生活の個人化
- 連携志向・前提の制度構築

ソーシャルワーク研究に求められる変化

- 集団・組織・事業の閉じた構造や単一の機能を取り扱うだけでは、有効な手立てを構想しきれなくなっている。
(集団論的アプローチ → ネットワーク・アプローチ)

※集団・組織

家族、親族、町会・自治会、NPO、社会福祉法人、地域社会、事業者 等

ネットワークをとらえる視点

形態・構造 同類性、中心性、密度、媒介、距離、（普及、社会的資本）

①効果・効能・機能

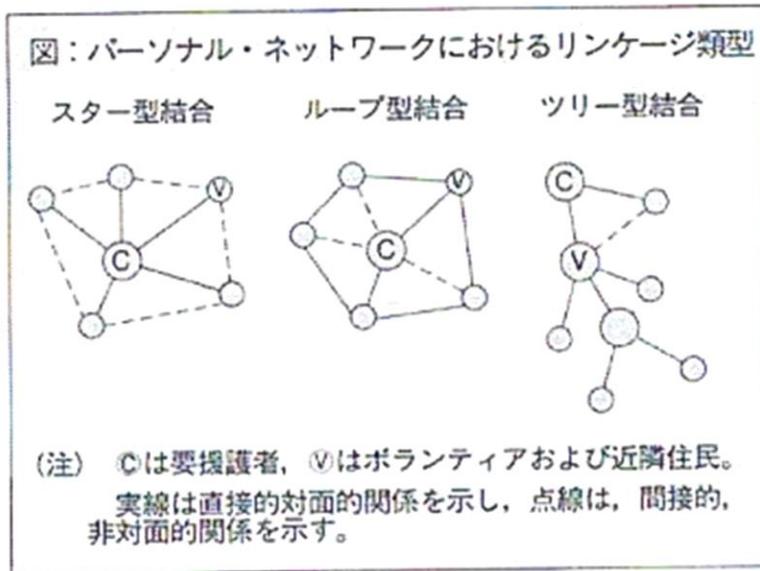
- ・ 個人（友人関係が生命予後、抑うつ、幸福感、受診行動に影響 等）
- ・ 小集団、組織、コミュニティ（個人への影響、援助、資源創出）
- ・ 集団間、組織間、専門職間（個人への影響、援助、資源創出）

②手法（ネットワーキング、形成、連携、構築）

- ・ （介入の）プロセス、アクター／ワーカーの機能
（SSN、多機関連携、援助システム、コミュニティの構築 等）

ネットワークをとらえる視点 (牧里每治 1993)

ソーシャルサポート・ネットワークの類型



スター型

- ①の判断能力、管理能力(+)
- 数人のパートタイム介護者
- ①または家族、ケースマネージャーが集合化・集団化する

ループ型

- ①の判断能力、管理能力(-)
- 特定のコーディネーターへの関わりの集中／分散

ツリー型

- 援助者の補充、新しいネットワークを形成するとき (ネットワーキング)
- 権力関係によらない組織化 (≠C0)

社会福祉におけるソーシャルネットワーク研究 (1989～1999)

著者名	発行年	タイトル	書籍・雑誌名
山手茂	1989	社会福祉実践とネットワーキング	社会福祉学
橋本義郎	1989	重層的なネットワーキングと〈市民〉グループ：地域で福祉活動を展開するグループに焦点をあてて	日本の地域福祉
平野隆之ほか	1989	社会福祉協議会とネットワーク：枚方市における実践事例分析から	日本の地域福祉
喜多祐荘	1990	乳幼児の心身障害の早期発見：療育システムの検討：保健・医療・福祉・教育・地域援助の連携をもとに	社会福祉学
湯浅典人	1992	エコ・マップの概要とその活用：ソーシャルワーク実践における生態学・システム論的視点	社会福祉学
岡本裕三	1992	社会福祉「改革」とマンパワー問題：医療・福祉のネットワークの重要性について	社会福祉学
湯浅典人	1993	ネットワーク分析の方法：ソーシャルワークへの応用についての検討	社会福祉学
湯浅典人	1995	ソーシャル・サポートに焦点をあてた援助についての考察	社会福祉学
滝沢万由美	1995	住民参加型在宅福祉サービス組織のネットワークー川崎市のワーカーズ・コレクティブの事例を通して	日本の地域福祉
藤沢真理子	1999	地域ケアネットワークにおけるホスピスボランティアの役割	日本の地域福祉

ウェブサイト「地域福祉におけるソーシャルネットワーク」の「reference」に収録した文献のうち、『社会福祉学』『日本の地域福祉』『地域福祉実践研究』に収録された論文等（2000年以降も同様）

社会福祉におけるソーシャルネットワーク研究 (2000～2010)

著者名	発行年	タイトル	書籍・雑誌名
石田路子	2000	単身高齢者の生活支援と親族ネットワーク：漁村における親族ネットワーク機能の変化から	日本の地域福祉
土室修	2000	実践研究報告 在宅高齢者のネットワーク活動	日本の地域福祉
松岡千代	2000	ヘルスケア領域における専門職種間連携：ソーシャルワークの視点からの理論的整理	社会福祉学
山田壮志郎	2005	ホームレス状態を「脱却」した人々の生活状況とホームレス対策の課題	社会福祉学
玉置好徳	2005	地域におけるソーシャル・インクルージョンに関する実践的研究：支援困難事例に対する「ネットワーク機能分析」の試行	日本の地域福祉
山口麻衣ほか	2006	フォーマル・ケアとインフォーマル・ケアの組み合わせ選好と地域特性との関連：高年住民のケア選好に着目して	日本の地域福祉
川島ゆり子	2008	ソーシャル・キャピタル論の社会福祉研究への援用：地域を基盤とする社会福祉実践の展開に向けて	日本の地域福祉
金 圓景	2010	韓国における認知症高齢者の家族会のサポートグループとしての機能	日本の地域福祉

社会福祉におけるソーシャルネットワーク研究 (2011～2020)

著者名	発行年	タイトル	書籍・雑誌名
岡本秀明	2012	都市部在住高齢者の社会活動に関連する要因の検討：地域におけるつながりづくりと社会的孤立の予防に向けて	社会福祉学
染野享子	2013	危機的ライフイベントが独居高齢者のソーシャルサポートネットワークに与える影響：独居高齢者の語りによる質的分析	日本の地域福祉
山口麻衣ほか	2013	災害時，緊急時，日常における地域の支えあいの可能性と課題：大都市の団地居住高齢者の支えあい意義の分析	日本の地域福祉
仁科伸子ほか	2013	大都市郊外の公営住宅団地に居住する高齢者の社会関連性の特性と課題についての研究：周辺地域との比較において	社会福祉学
岡本秀明	2014	地域における高齢者のインフォーマルな社会的ネットワーク形成に関連する要因：友人・知人の獲得に着目して	社会福祉学
川島ゆり子	2015	生活困窮者支援におけるネットワーク分節化の課題	社会福祉学
池田繭子ほか	2016	地域包括支援センターのアウトリーチ：支援を求めない高齢者への職員の働きかけに関する研究	日本の地域福祉
上野山裕士	2017	小地域福祉活動の展開における新たなつながりの有用性：中山間地域における住民生活の事例から	社会福祉学
山城典子	2019	地域在住後期高齢者の社会参加の継続要因：社会的ネットワークの側面から	日本の地域福祉
松本道也ほか	2020	官民の協働による関係機関ネットワークの構築と開発的取り組みの実践：高島市における生活困窮者自立支援の取り組みを通じて	地域福祉実践研究
中村哲也ほか	2020	中山間地域の生活状況を踏まえた介護・孤立予防：地域資源を活かす・つなげることを意識した新たな個別プランの取り組み	地域福祉実践研究

社会福祉におけるソーシャルネットワーク研究 のキーワード

対象者

高齢者（単身・独居）、
乳幼児、心身障害、認知症、
ホームレス、生活困窮者、
支援を求めない高齢者、
専門職

場

活動グループ、中山間地域、
社会福祉協議会、地域包括
支援センター、ホスピス、
療育、親族、家族会、社会
活動

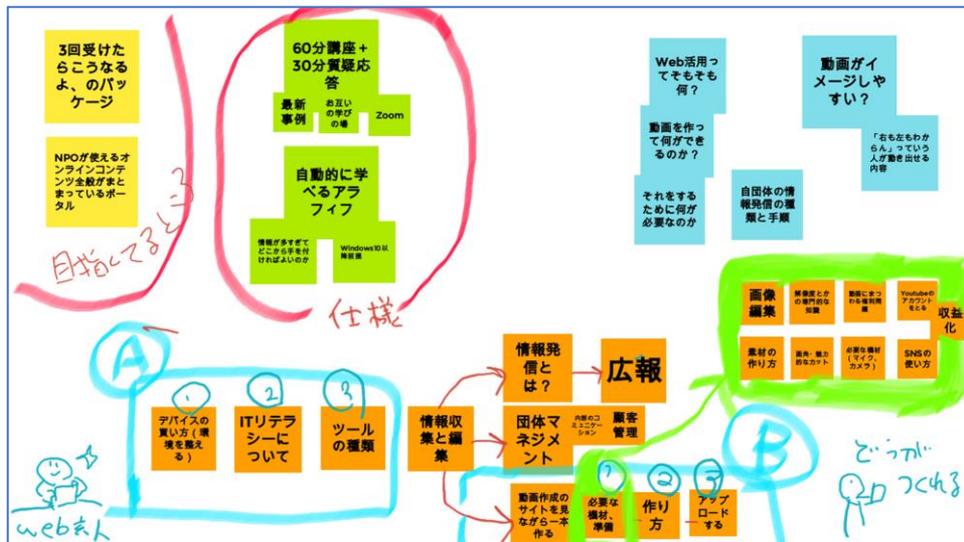
問い

援助（方法）、意義（効果・有用性）、
友人・知人の獲得、ネットワークの影響、
ネットワークの分断、継続要因、役割、
援助（専門職）の連携

地域福祉の関心領域とネットワーク (ワークシヨップ)

➤ 地域福祉の関心領域は何ですか？

Ex) プロジェクトの動員とチームづくり



※Jamboardを使用

←使用例

今後の予定

第11回（公開セミナー）

~~7月17日（土）14時～15時50分~~ →延期
「境界を超えるネットワーキングの可能性」
ゲスト 後藤好邦氏（山形市役所）

第12回

8月 日（土）10時～11時30分（仮）
牧里每治のネットワーク論
担当 山本昂亮氏

第13回 以降

- ・Oneシードぽけっと（東京都足立区）
- ・タコ足ケアシステム（千葉県多古市）
- ・ソーシャルサポートネットワーク 事例